



やぶづか

# 藪塚台地広域協定運営委員会（太田市）

## 地区の概要

平地農業地域

取組面積	415.0 ha (畑 415.0 ha)	
資源量	水路	8.7 km
	パイプライン	130.3 km
	農道	211.2 km
主な構成員	農業者、福祉施設、藪塚台地土地改良区 等	
交付金	約 1,460.6 万円	
〔 農地維持支払 資源向上支払（長寿命化） 〕		

- 本地域は、太田市の北西部及びみどり市の南西部に位置し、S54～H7に基盤整備等が行われ、安定的な用水供給が可能となり、県内有数の野菜の産地となった。
- 整備から30年以上が経過し、かんがい施設の老朽化により、漏水や故障が増加しており、用水の安定供給への対策が急務となり、平成29年度に藪塚台地土地改良区が中心となって、多面的機能支払交付金に取り組むこととなった。
- 老朽化した施設の維持管理や計画的な更新及び補修を行うことで施設の長寿命化を図るほか、農地周辺の環境を整え、地域農業の持続的発展に寄与している。

## 推薦項目

<input type="checkbox"/> 子供の参画	<input type="checkbox"/> 女性の参画
<input type="checkbox"/> 学校と連携	<input type="checkbox"/> 行政と連携
<input type="checkbox"/> 地域交流	<input type="checkbox"/> 参加率
<input type="checkbox"/> 事務に工夫	<input type="checkbox"/> 広報
<input type="checkbox"/> 環境保全	<input type="checkbox"/> 工事
<input type="checkbox"/> 遊休農地解消	<input checked="" type="checkbox"/> 他：農福連携

## 活動内容・成果

- 農業者同士の交流が希薄であったが、本活動を行うことで、交流が増えたほか、農地周辺の環境向上への意識が醸成された。
- 福祉施設と連携して農道や水路の除草活動に取り組み、地域共生社会へ繋がるなど、農福連携の取り組みに大きく寄与している。

## 波及効果

- 計画的に施設を更新できるため、断水を最小限に抑えられ、安定した農業生産の維持や、漏水等による農家への負担を大幅に減らすことができた。
- 農福連携の活動により、農地の保全が図られるとともに、福祉施設からも「一緒に活動を行うことでよい影響を与えている。」との声もある。



◇ 草刈り状況



◇ 水路の泥上げ状況



◇ 農福連携（草刈り）



◇ 農福連携（清掃）